

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

安心・安全のまちづくりに貢献



9月10日に「道の日」に因んで、財部の建設同志会の皆さんが、県道塚脇財部線の陣が丘付近と、市道流合川内線の歩道等の除草作業を行いました。

この作業は、今回で13回目の開催で、当日は、建設同志会の会員や県、市の職員などが参加して作業が行われました。

参加者は、生い茂った雑草を、草刈り機等で刈り、作業終了後は、スッキリした道路がよみがえりました。

同会の上集会長は、「財部町建設同志会として、今後「安心・安全な街づくりを目指して、貢献して行きたい。」と話されました。

高校生が地元の企業を視察・研修



9月26日、市内の末吉・岩川高校の生徒の中で、地元就職を希望している生徒を対象に、地元企業の視察・研修会を開催しました。

これは、地元の生徒達がかつと地元企業の事を知り、夢と希望をもって就職して欲しいという願いで開催されているものです。

当日は、2校から2年生10人が参加して、畜産関連機械製作のマトヤ技研工業や自動車関連部品の設計・製作を行っているジャスティ、大隅酒造の3社を視察・研修しました。

参加した高校生たちは、実際に現場で担当者から業務内容などの話があると、メモなどを取りながら熱心に耳を傾ける姿が見られました。

家族のおかげで優勝する事ができました



10月1日、末吉の深川レインボーレディースチーム（キャプテン末鶴ひとみさん）5名が市長室を訪れ、さわやか伊佐県体カヌー女子の部での優勝の報告がありました。

大会は、9月20日に伊佐市菱刈町のカヌー競技場で行われ、県内から地区予選を勝抜いた9チームが参加して開催されました。

同チームは、結成12年目で登録メンバー13名、メンバーの殆どが主婦で、6月から毎週3回深川カヌー場で、厳しい練習を積み重ねてきました。そして並いる強豪を押し、見事2度目の栄冠を勝ち取ることができました。

皆さんは、口々に「毎週夕飯時の練習で、時間をつくるのが大変でした。ここまでこれたのは、それぞれの家族の協力があったからだと思います。感謝しています。」とおっしゃっていました。次の目標は、「県体連覇」だそうです。

野球教室で北別府学さん達の教えを学ぶ



9月26日、末吉の栄楽公園グラウンドで「北別府学野球フェスタ」が開催されました。

当日は、広島東洋カープで200勝投手として活躍された曾於市末吉町出身の「北別府学」と元ダイエーホークスの外野手として活躍された「カズ山本」さんが講師にられました。

会場では、プロ野球の厳しい世界を経験された2人の体験、知識を学ぼうと市内のスポーツ少年団の団員や、各中学校の野球部員、関係者など約250人が参加。守備やバッティング、ピッチングなどそれぞれに別れて熱心な指導が行われると、初めのうちは、少し緊張して思うように動けなかった子ども達も和やかな中、懸命に学ぶ姿が見られました。

この子ども達の中から北別府選手に続くような人が出てきたらいいですね。

内戦で散った若い命を慰める



9月24日、大隅町岩川官軍墓地で、官軍戦没者慰霊祭がありました。

この催しは、西南戦争で戦士した官軍の兵士の霊を慰め、鎮めるための祭式で、山形県の旧温海町（現在鶴岡市）と民間交流を続けている「大隅あつみ会」が主催して毎年行っているものです。

130年前にあった最後の内戦西南戦争、墓地の近くの馬場長寿会は、戦争で亡くなった人々に薩軍も官軍もない、そんな気持ちで、約50年間毎月墓地の花水を替えて供養しているそうです。

「大隅あつみ会」の澤俊文会長は、「地域の皆さんにもっともっと関心を持ってもらいたい。そして、旧温海町の人々とますます交流を深めていきたい」とおっしゃっていました。

男女共同参画 前向きにまろく考える



9月30日、財部きらめきセンター大ホールで、林家花丸さんを講師としてお招きし、男女共同参画推進講演会を開催しました。

花丸さんは、関西の新進気鋭の落語家の一人で、関西らしい元気な語り口が印象的な方でした。

当日は、落語を30分、講演を60分の日程でお話をされましたが、会場のお客さんは、90分間どこで飛び出すか分からない面白い話と矢継ぎ早の展開に大笑いしながらも真剣に聞き入っていました。

花丸さんのお話の中で、人は色々な見方があり、ややもすると区別したり差別したりすることがあります。しかし、どんな環境でも思いやりを持ち、前向きにまろく考えることで、男女共同参画の実現を目指して明るく生き抜こうとする力を持ちましょうということを教えて頂いたような気がしました。

健康づくり支援事業研修会開催



10月1日、末吉総合体育館で鹿児島県老人クラブ連合会主催の「健康づくり支援事業」に関する研修会が開催されました。

この研修会は、高齢者の福祉向上を目的としているもので、この研修会を受けられた方々が地域の中心となって高齢者の健康づくりのリーダーとして活躍されることを期待しての開催でありました。

会場には、関係者を含め約100名の方々が参加し、「健康づくりの基礎知識」「高齢者の低栄養予防について」等の講義があり、午後からは、まず自分の体力を知ろうという意味で体力測定、いきいき体操、健康ウォーキング、ニュースポーツなどの実技も行われました。

参加された方々は、「以外にできんもんやなあー」と口々におっしゃっていました。

このような研修がきっかけで、市民総ぐるみで健康づくりの気運が高まってくればいいですね。

都城広域定住自立圏協定締結式



10月6日、都城市役所で都城広域定住自立圏形成協定締結式が行われました。

定住自立圏の構想は、人口減少、少子高齢化が進行する中で、地方圏において、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、地方圏への人の流れを創出するために全国的な見地から推進していく施策です。

そこで、曾於市では、都城市の中心市宣言に賛同し、議会の同意を得て都城市と協定を結びました。今後は、「広域救急医療の整備・充実」、「都城志布志道路建設促進」、「人材の育成や交流の推進」の各分野で、協力連携して共生ビジョンを策定していきます。

池田市長は、挨拶の中で「都城とは大淀川の流れのごとく切っても切れない関係です。今後この枠組みで、活のある圏域を作っていきましょう。」と述べました。

自転車盗難被害防止モデル駐車場に



9月10日、市役所と警察署が、旧末吉駅前駐輪場を自転車盗難被害防止モデル駐車場に指定し、それを呼びかける看板を設置しました。

指定に当たっては、末吉地区地域安全モニターや末吉中部パトロール隊から「全国的に自転車の盗難被害が増加していて、旧末吉駅前駐車場にも被害防止を呼びかける看板等を設置できないか」との要望があり、協議した結果、同駐車場をモデル駐車場として看板を設置しました。そして市役所、警察、防犯団体が連携して警戒活動を実施し、地域ぐるみで被害防止活動を継続することになりました。

当日は、旧末吉駅周辺の草刈等の清掃作業も実施し、駐車場利用者からは、「周辺の環境が明るくなり盗難被害防止になります。」といった声が寄せられる等好評のようでした。

吉井洋画展 MBC 賞受賞



10月13日、吉井淳二記念展実行委員会代表の青山昭雄さんがMBC賞受賞の報告に市長室を訪れました。

この賞は、過去の業績もさることながら、特に今後の地域社会への寄与、貢献を期待し、これを支援するためのもので、学術・文化・経済・社会・スポーツ等の発展のために実践活動を継続する団体・個人を表彰するものです。

吉井記念洋画展は、日本洋画壇の重鎮だった吉井淳二画伯が末吉の出身だったこともあり、「絵の町末吉」を盛り上げようと旧末吉町で昭和59年に始まり、合併後も吉井記念曾於市洋画展と名称を変更し、通算26回開催しています。平成20年度には、2630点の応募があり、新進作家の登竜門として県内でも有数の洋画展として知名度も高くなっています。

国鉄・JR OB会、鉄道を偲んで



10月14日、九州鉄道OB会末吉分会の方々総勢32名が鉄道記念日に因んで、旧末吉駅前のボランティア清掃を行いました。

この活動は、古きよき時代の鉄道を偲びながら、会員の親睦を図る事と、地域への感謝の気持ちを育てるということを目的に30年以上前から毎年行っているものです。

ボランティア清掃の他にも、会員と鉄道を利用し、旅をする企画も行っているそうです。

会長の山田睦市さんは、「体力の続く限りこの活動を続け、JRにも地域にも貢献していきたい」とおっしゃっていました。